

経営協議会学外委員からの提言への対応
(平成26年度)

1. 総長選考

経営協議 会開催日	学外委員からの提案・意見等
H26. 4. 18	○早く公示し、投票権者が判断する資料を配布してほしい。
H26. 6. 25	○時間がなく公開討論会ができないことは非常に残念に思っている。候補者の生の声を聞かない選挙には違和感を抱く。 ○今後、ウェブサイトを使用するなど、候補者の考えを生の声で発信することを検討してほしい。

●提案・意見等に対する主な取組事例

<総長選考>

①総長選考会議においては、総長選考の実施にあたり平成26年7月8日には公示するとともに、総長候補者に係る情報提供の充実の観点から、第1次総長候補者に提出を求める「東京大学の教育、研究、運営等に関する所見」の様式を改め、第2次候補者を告示する際に顔写真とともに学内ポータルサイトに掲載する取組が行われた。

2. コンプライアンスの強化・研究倫理

経営協議 会開催日	学外委員からの提案・意見等
H26. 4. 18	○研究倫理問題に取り組む姿勢として「迅速かつ徹底」自体は間違いではないが、急ぐとかえって大きな間違いが出てくるという危険な面もあるので配慮した方がよい。
H26. 6. 25	○事案の調査について、時間がかかりすぎている原因について検討いただきたい。調査が長引く場合は頻繁に経過報告もできるのではないかと。

●提案・意見等に対する主な取組事例

<研究倫理>

①研究不正に関する調査については、東京大学科学研究行動規範委員会規則に従い、弁明、不服申立ての機会を付与するなど被告発者の権利を確保した上で適切に実施している。

<コンプライアンス状況報告>

①研究不正及び研究費不正に関する調査については、文部科学省のガイドラインの要請を踏まえ、学内規則に告発から事案の認定までの調査機関等を定め、規則に従い適切に実施している。また、コンプライアンス体制の強化の一環として「コンプライアンス総括会議」の機能強化を図るために、「コンプライアンス総括室」を2014年度に新設し、総括責任者による事案の早期把握や関係者間での早期の情報共有などを図り、迅速な事案への対応を行っている。

3. 行動シナリオ

経営協議 会開催日	学外委員からの提案・意見等
H27. 3. 13	○年度計画が進行しており大変評価しているが、年度計画にできるだけ出口戦略、数値計画を入れた方がより良い。数値に表せないものもあることは承知しているが、他の客観的評価法を検討し、自己評価をしていただければもっと良いと思う。

●提案・意見等に対する主な取組事例

<行動シナリオのフォローアップ>

- ①毎年度、重点テーマ別行動シナリオの達成目標ごとに、主要な取組、検討事項の進捗を把握する指標及びデータを確認し、すべての活動計画について自己評価を含む検証を行っている。

4. 職員評価

経営協議 会開催日	学外委員からの提案・意見等
H26. 11. 14	○業績評価は、本人に結果をどのように通知しているのか。 業績評価は明確な基準で判断してほしい。 ○民間では業績評価が悪い場合も書面等で本人に通知し、反省を促している。

●提案・意見等に対する主な取組事例

<職員評価>

- ①教育企画室において、国際化の推進やアクティブラーニングの導入、ICT を利用した教育の高度化など東京大学の教育に寄与すると考えられるすぐれた教育実践を主導した教職員を検証し、広く学内で共有することを目的とした制度の導入の方向性について検討を行った。
- ②職員評価を実施し面談形式にて上司によるフィードバックを行っている。また、昇給や勤勉手当については、成績区分を本人の給与明細に明示するとともに、成績不良の者に対しては、必要に応じて別途、本人への通知に明示している。